



びっきー

第14号

【学校教育目標】

自ら学び心豊かにたくましく
生きる生徒の育成

ルーサンカレッジとの交流

南オーストラリア州エンカウンター・ルーサンカレッジより10名の生徒が江北町・江北中学校に来られ交流を行いました。昨年度、本校生徒12名が行き交流がスタートしました。9月24日(火)に来町され、町内の周遊・体験後、公民館で日本文化の体験をされました。「日本舞踊」「生け花」「茶道」「墨絵」をホームステイ先の本校中学生と一緒に体験しました。



翌日25日(水)は、ホームステイ先の中学生と一緒に登校し、全校で歓迎セレモニーを実施しました。相島生徒会長のスピーチ、江頭君による空手道形、剣道部による剣道形を披露しました。オーストラリアの生徒も上手な日本語で自己紹介を行ってくれました。日本語を学習しているとのことでしたが、自分の名前をひらがなで書ける生徒もいました。



校内見学後、書道を体験してもらいました。「和」「日本」「友」「秋」「夢」「空」「美」などの文字を選択し習字を体験してもらいました。2、3時間目は美術では、大和町の「名尾手すき和紙」に自由に水彩画を描き「ランプシェード」を制作してもらいました。4時間目は3年2組で「英語」を一緒に受け、各学級で給食を食べ、昼休みは図書室で折り紙をしたりして過ごしました。5時間目は、剣道部が手伝ってくれて、武道の「剣道」を体験してもらいました。始めは恐る恐る「面」を叩いていましたが、次第にいい音ができて楽しそうでした。最後に試合を披露し、剣道の醍醐味を味わってくれたようです。西原議長さんも来られて、日本刀、木刀、短刀など持ってきていただき、記念写真を撮ったりでいい思い出ができたと思います。6校時は3年1組で「社会」で、いろいろなミッションが与えられ、クイズで交流しました。2日目もホームステイで、26日(木)

も一緒に登校し、朝の時間に「お別れセレモニー」を行いました。浪瀬君がお別れの挨拶をし、音楽部が合唱を披露しました。オーストラリアの生徒は満足して帰ってくれたと思います。本校生徒は、意欲的にコミュニケーションを取っていた様子は多くは見られませんでした。が、「おもてなし」の心を大切に対応してくれました。また、ホームステイを引き受けていただいた保護者や地域の方々ありがとうございました。



書写の体験



和紙によるランプシェード制作



英語の授業



面打ちの伝授



防具を付け実際の面打ち体験



剣道の試合観戦



日本刀を持って記念写真



剣道部の生徒と記念写真



社会の授業



お別れセレモニー（浪瀬君）



お別れセレモニー（音楽部）



拍手でお別れ

来年度は、現在の1年生と小学6年生がオーストラリアに行くことになると思います。時期は11月下旬の予定です。

日本の伝統、文化や習慣なども海外に人に伝えられることも国際交流だと思いますし、そういう意味でも有意義な交流になったと思います。

